



2026年7月10日

各位

会社名 小田急電鉄株式会社
代表者名 取締役社長 鈴木 滋
(コード番号 9007 東証プライム)
問合せ先 執行役員 IR室長 山本 武史
(TEL. 03 - 3349 - 2526)

「FTSE JPX Blossom Japan Index」および「FTSE4Good Index Series」 の構成銘柄に初めて選定されました

当社は、継続的なESGに対する取り組みが国際的に評価され、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築された「FTSE JPX Blossom Japan Index」および「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に初めて選定されましたので、お知らせします。これに伴い、当社は年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用する国内株式を対象とした6つのESG投資指数すべてに選定されています。

■ GPIFが採用する6つのESG投資指数

- ・ FTSE JPX Blossom Japan Index
詳細: <https://www.lseg.com/ja/ftse-russell/indices/blossom-japan>
- ・ FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index
詳細: <https://www.lseg.com/ja/ftse-russell/indices/blossom-japan>
- ・ MSCI 日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
詳細: <https://www.msci.com/jp/our-solutions/indexes/nihonkabu-esg-select-leaders-index>
- ・ MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)
詳細: <https://www.msci.com/jp/msci-japan-empowering-women-index-jp>
- ・ S&P / JPX カーボン・エフィシエント指数
詳細: <https://www.spglobal.com/spdji/jp/indices/sustainability/sp-jpx-carbon-efficient-index/#overview>
- ・ Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数 (除くREIT)
詳細: <https://indexes.morningstar.com/gender-diversity-indexes-jp>

■ 小田急グループの取り組み

当社グループは、経営理念を「お客さまの“かけがえのない時間(とき)”と“ゆたかな暮らし”の実現に貢献します。」と定めています。環境や社会の持続性に配慮しながら継続的な企業成長を目指す「サステナビリティ経営の推進」はその根幹を成すものです。経営計画体系において、経営ビジョン「UPDATE 小田急」の上位概念となる不変の考え方として「サステナビリティ経営の推進」を位置づけることで、6つのマテリアリティ(重要テーマ)を経営の中心に据え、社会課題の解決を通じた持続可能な成長を実現していきます。

<小田急グループのマテリアリティ>

マテリアリティ	
1. 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心を最優先した公共交通サービスの提供 ・誰もが安心して暮らせる社会の追求
2. まちづくり・地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・職、住、商、学・遊、ウェルネスを兼ねそなえたまちづくりの実現 ・地域資源を活かしたまちの発展
3. 日々のくらしと観光体験	<ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジーを活用したゆたかなライフスタイルの推進 ・その地域ならではの観光体験の提供
4. 環境（カーボンニュートラル）	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ、再エネ、電動化、地域との連携による脱炭素社会の実現 ・「Beyond Waste」を目指した資源循環社会の実現
5. 人的資本の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての社員が自分らしく働ける企業風土の醸成 ・持続的な成長を実現するための価値創造型人材の育成・配置
6. ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・すべてのステークホルダーの期待に応える最適なガバナンス体制の実現

(参考) 小田急グループのサステナビリティ <https://www.odakyu.jp/sustainability/>

以上